

令和元年度

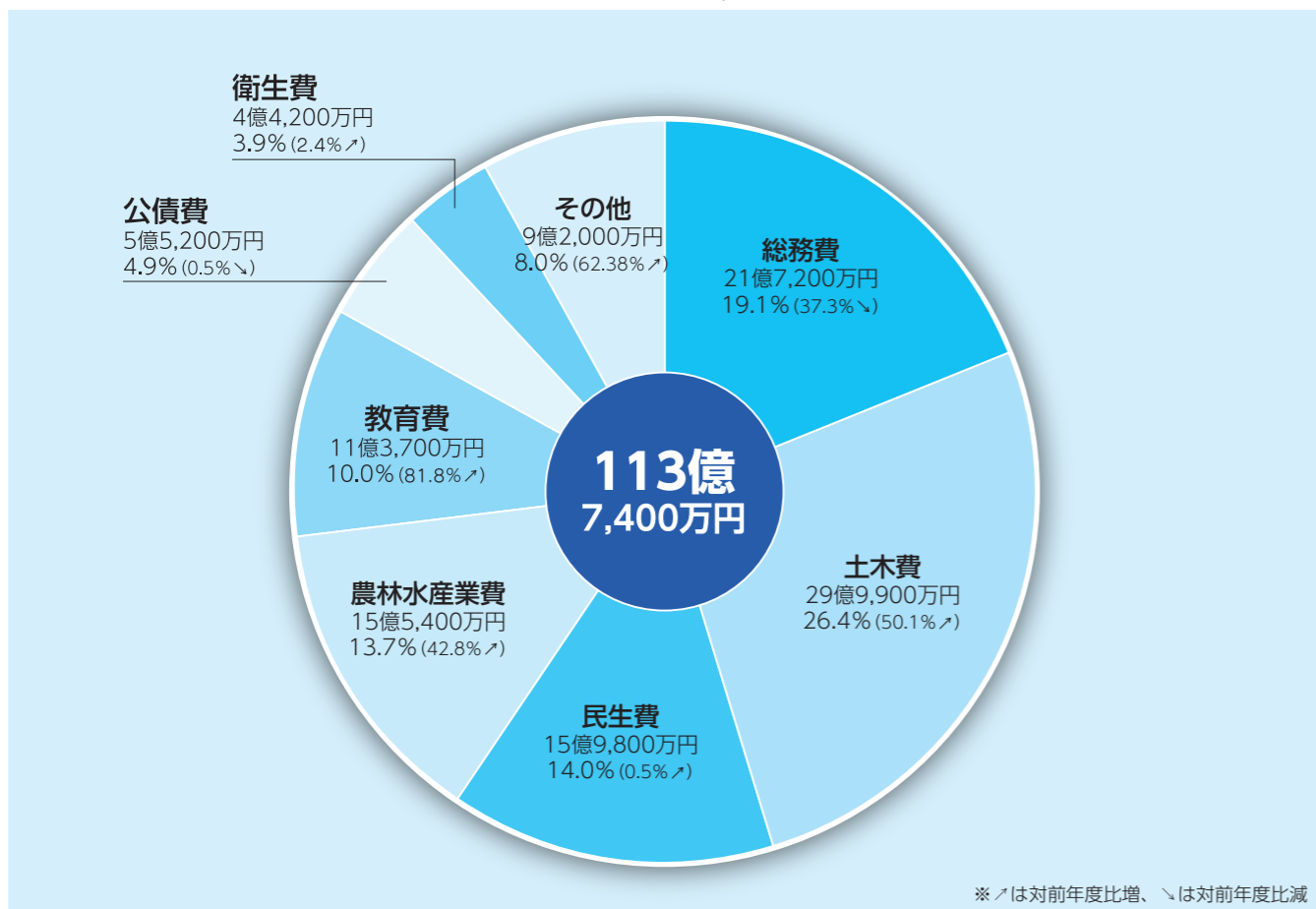
# 当初予算 「創造的な復興・創生」の完遂とさらなる発展に向けて

一般会計予算 **113億7,400万円** 対前年度比 **10.2%増**

## 歳出(目的別)

目的別とは…

役場の仕事を総務費(庁舎や財産の維持管理、税金などの徴収などの経費)や土木費(道路や河川、公園などを整備するための経費)など、“どのような目的で使ったのか”を表すものです。



## 用語解説(歳出)

- 総務費** 庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などの経費
- 土木費** 道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費
- 民生費** 子育て支援や障害・高齢者に対する福祉などの経費
- 農林水産業費** 農林水産業の復興を図るための支援や生産基盤整備などの経費
- 教育費** 学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費
- 公債費** 町債の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費
- 衛生費** 環境保全、疾病予防、健康増進などの経費
- その他** 議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など

## 予算編成方針の概略

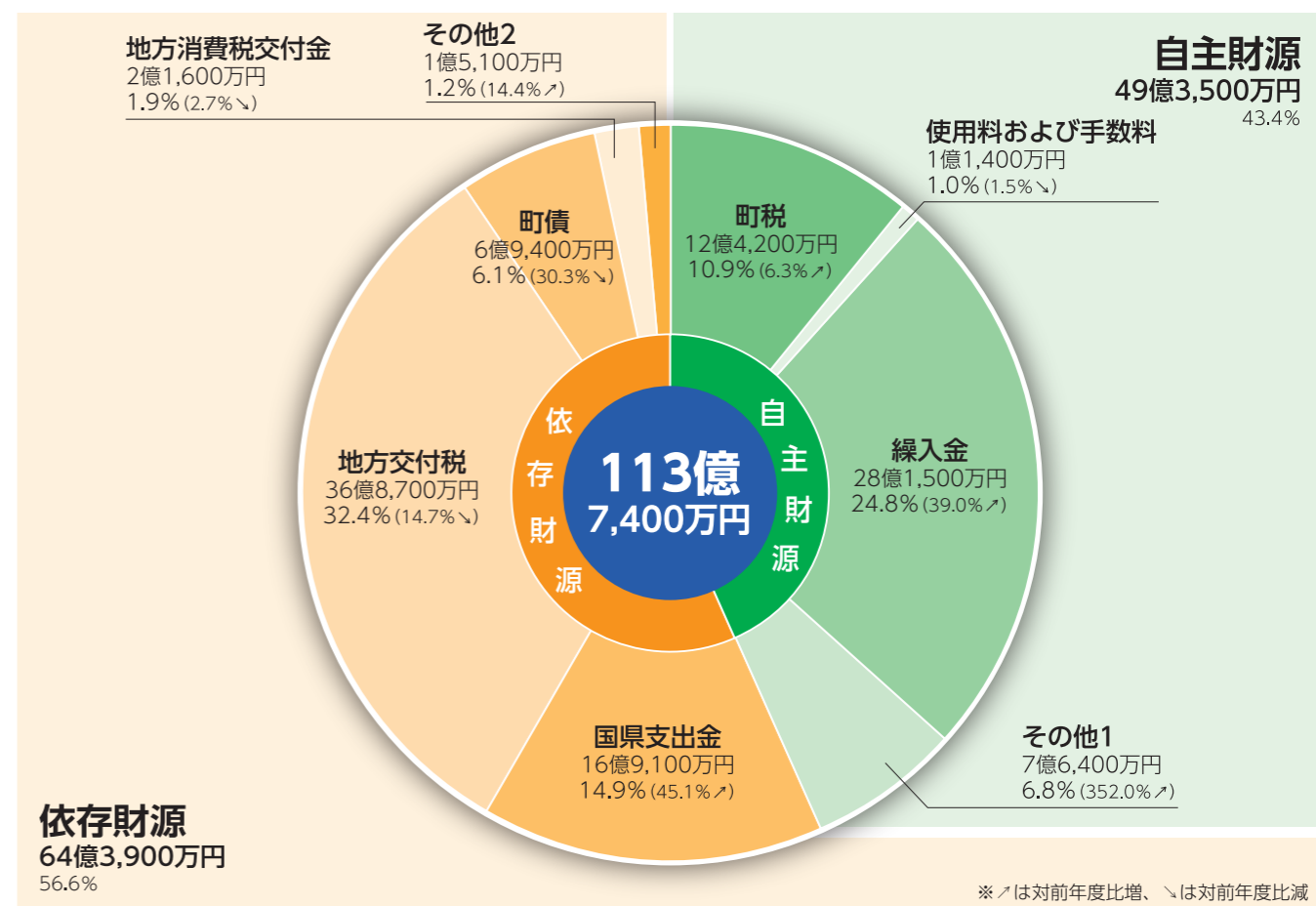
令和元年度各種会計予算が、平成31年第1回山元町議会定例会で可決されました。

令和元年度は、現在策定を進めている「第6次山元町長期総合計画」(R1～R10)の初年度であり、次世代を見据えた「創造的な復興・創生」を完遂させるとともに、新たな町の船出となる重要な転期の年となります。令和元年度では、これまで取り組んできた復興事業を改めて点検するとともに、町政の課題解決のため、引き続き、『7つの公約』に基づく各種施策を重点的に配慮した予算編成としています。

一般会計予算は、前年度予算と比較し、10億5,500万円増(10.2%増)の113億7,400万円です。これは、復興・創生関連予算の増や消費税増税に伴う通常予算の増などの影響によるものです。

なお、復興・創生関連事業は、約50億円で予算全体の約44%を占めており、漁港施設機能強化事業(静穏度対策)、旧中浜小学校震災遺構保存・整備事業などの投資的な事業を中心に予算措置しています。その他の事業については19ページに記載のとおりです。

## 歳入



## 用語解説(歳入)

- 依存財源** 各種事業費用に充てるため、国と県から交付される補助金など
- 自主財源** 町民税や固定資産税など、町民の皆さんが町に納めるお金
- 町税** 町民税や固定資産税など、町民の皆さんが町に納めるお金
- 使用料および手数料** 町営住宅の家賃や住民票交付手数料など
- 繰入金** 主に基金などを取り崩して財源に充てるためのお金
- その他1** 保育料などの負担金や寄付金など
- 国県支出金** 各種事業費用に充てるため、国と県から交付される補助金など
- 地方交付税** 全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスを受けられるよう、所得税などの国税の一定割合を財源として国が交付するお金
- 町債** 道路や施設整備の財源に充てられる借入金
- 地方消費税交付金** 地方消費税の一部を財源として、県が人口などにより按分し、町に交付するお金
- その他2** 道路特定財源である自動車取得税交付金やゴルフ場利用税交付金など

## 歳出の解説

**総務費** 他市町村などからの派遣職員の受け入れに要する経費に加え、坂元合同庁舎を解体するための経費、今年度制度を拡充した「移住・定住支援事業」など（前年度比 12億9,300万円減、37.3%減）

**民生費** 小学生・中学生・高校生の外来・入院分の医療費無料化のための「子ども医療費助成事業」や今年度も支援策を拡充した「子育て応援事業」に係る経費のほか高齢者福祉事業や障害者の自立支援および介護予防支援事業の推進経費など（前年度比 800万円増、0.5%増）

**衛生費** 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行うため保健師等の専門性を生かした相談などを行う「子育て世代包括支援センター事業」や歩くことを通じて世代間の交流や健康づくりに取り組む「元気やまもと健康づくりウォーキング事業」、地域の拠点病院である宮城病院との連携強化に要する経費など（前年度比 1,000万円増、2.4%増）

**労働費** シルバー人材センター運営支援経費など（前年度比 400万円増、31.9%増）

**農林水産業費** 安全に漁船に係留できる静穏度を確保するために既設東波除堤を改良する「漁港施設機能強化事業」や漁具倉庫の災害復旧事業としての「水産業共同利用施設復興整備事業」に要する経費など（前年度比 4億6,600万円増、42.8%増）

**商工費** 新浜地区への企業誘致を進めるため当該区域の整備を行う、「企業誘致推進事業」や民間企業のノウハウなどを活用し、町の観光関連事業の魅力向上を目指す「地域おこし企業人交流プログラム推進事業」、ふれあい産業祭などの商工業振興経費、町内中

小企業者の運転資金などの融資斡旋、町の観光・物産などのPR活動を通じて、交流人口の拡大や地域産業の活性化を推進するための経費（前年度比 2億9,000万円増、253.3%増）

**土木費** 頭無西牛橋線、新浜諏訪原線、高瀬笠野線の道路改良工事を実施する社会資本整備総合交付金事業や長寿命化計画策定に伴う橋梁修繕、町道山寺畑中線、鷲足山崎線、東街道線等、丘通りの道路改良工事など（前年度比 10億100万円増、50.1%増）

**消防費** 予期せぬ災害に適切に対処し、町民生活の安全確保を図るための消防・防災対策に関わる経費など（前年度比 1,900万円増、7.3%増）

**教育費** 校舎改修工事並びにメモリアル広場の整備工事を行う「旧中浜小学校震災遺構保存・整備事業」や駐車場不足などを解消するため、拡張・改修工事に係る用地取得を行う「深山山麓少年の森拡張・改修事業」、2021年4月開校の新中学校に係る準備を進めるための「中学校再編準備事業」や不登校などの児童生徒および保護者に対し、教育相談、学校復帰支援などを行う「心のケアハウス運営事業」など（前年度比 5億1,200万円増、81.8%増）

**災害復旧費** 平成29年10月の台風21号によるがけ崩れ対策の事業箇所が埋蔵文化財の包蔵地であったため、発掘調査を実施する「災害関連地域防災がけ崩れ対策事業」や農業用施設災害復旧に要する経費など（前年度比 2,500万円増 233.1%増）

**公債費** 過去に発行した地方債の償還元金・利子など（前年度比 200万円減、10.2%減）

## 令和元年度の主な事業と予算額

総務費	
坂元合同庁舎解体事業	1億6,000万円
(拡充) 移住・定住支援事業	1億100万円
【新規】行政系施設等個別施設計画策定事業	300万円
民生費	
子ども医療費助成事業	4,000万円
被災コミュニティ再生支援事業	1,100万円
(拡充) 子育て応援事業	400万円
【新規】すくすく幼児教育事業	100万円
衛生費	
子育て世代包括支援センター事業	2,200万円
元気やまもと健康づくりウォーキング事業	500万円
宮城病院との連携支援事業	900万円
労働費	
シルバー人材センター支援事業	700万円
農林水産業費	
漁港施設機能強化事業(静穏度対策整備)	6億6,500万円
水産業共同利用施設復興整備事業(漁具倉庫整備)	1億5,200万円
沿岸部の農地整備事業	1億1,700万円

商工費	
企業誘致推進事業	2億8,100万円
農水産物直売所運営事業	1,000万円
【新規】地域おこし企業人交流プログラム推進事業	400万円
土木費	
幹線道路等整備事業(避難路・主要町道整備)	15億8,500万円
被災住宅再建支援事業	2億9,900万円
道路施設維持管理事業	1億8,700万円
消防費	
消防ポンプ積載車更新事業	1,200万円
教育費	
旧中浜小学校震災遺構保存・整備事業	4億6,600万円
深山山麓少年の森拡張・改修事業	2,800万円
【新規】学校施設長寿命化計画策定事業	1,500万円
【新規】心のケアハウス運営事業	1,300万円
【新規】学校給食費補助事業	1,200万円
【新規】指定文化財等保存・活用基本計画策定事業	800万円
【新規】町民体育館適正化事業計画策定事業	500万円
【新規】中学校再編準備事業	400万円

## 歳入の解説

総額は、113億7,400万円となり、前年度と比較し10億5,500万円増(10.2%増)です。

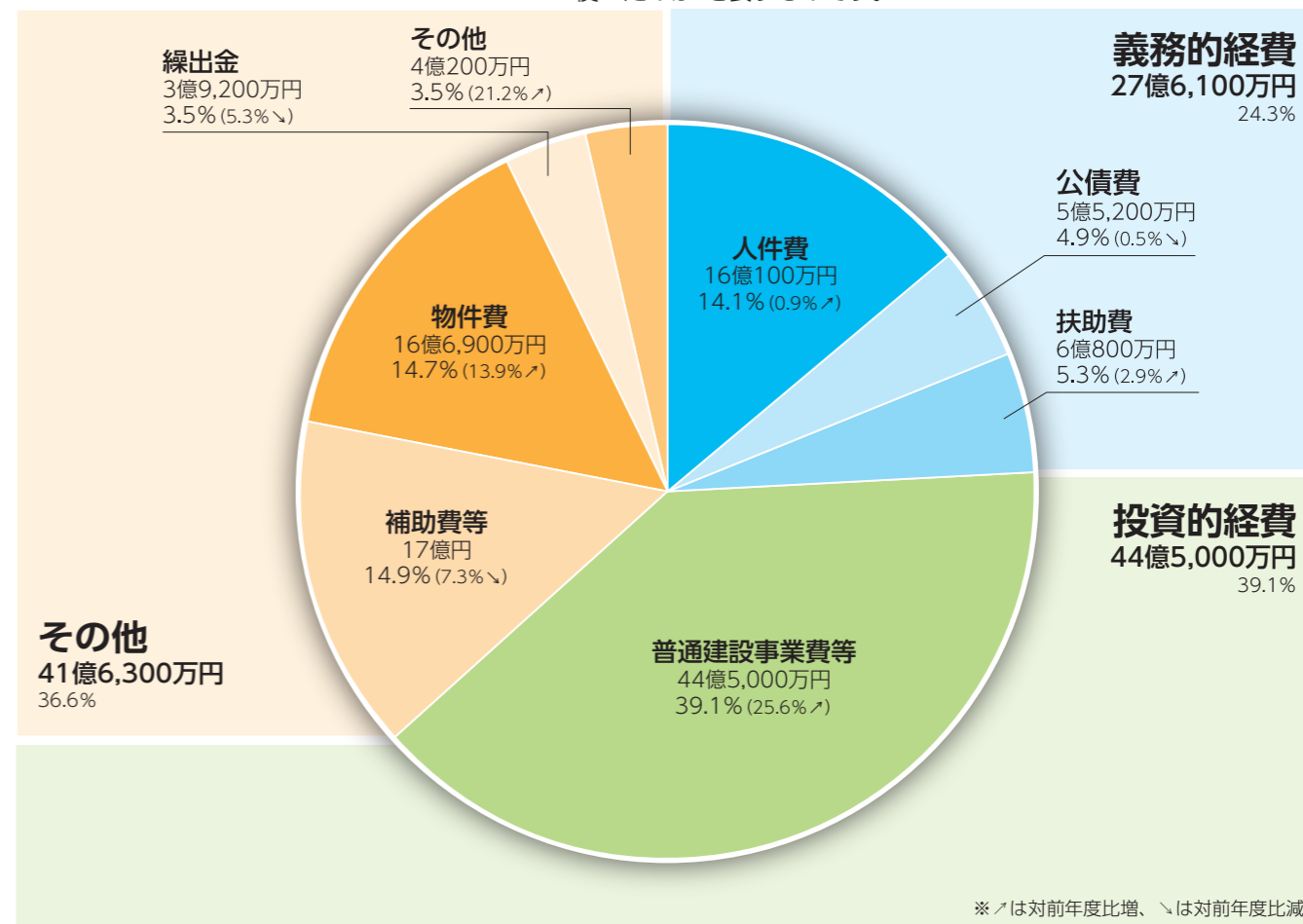
主な歳入の内訳として、町税収入については、震災後建築された住宅に対する軽減措置の段階的な終了や石油資源開発(株)のガスパイプラインの設置による固定資産税の増加などにより町税全体では、7,300万円増(6.3%増)となっています。

また、地方交付税については、普通交付税において、前年度の交付実績、地方財政計画の増減率などを基に試算した結果、19億6,000万円(6.8%減)になることが見込まれているほか、震災復興特別交付税においても、役場庁舎新築復旧事業や農水産物直売所建設事業をはじめとした各種復興事業の完了により、15億2,900万円(26.2%減)となっています。

## 一般会計予算(性質別)

性質別とは…

役場の仕事を人件費(職員の給料や手当などに係る経費)や公債費(町が発行した借金の元金や利子に係る経費)など“どのような用途で使ったのか”を表すものです。



## 用語解説(歳出性質別)

<b>人件費</b>	町議会議員や職員などに対して支払われる給料や手当など	<b>補助費等</b>	巨理地区行政事務組合などへの負担金や各種団体への補助金
<b>公債費</b>	町が発行した町債について毎年支払うことになる元金と利子	<b>物件費</b>	町が仕事を委託する場合の委託料や物品購入費など
<b>扶助費</b>	医療費助成費や見舞金など生活支援等の福祉にかかる経費	<b>繰出金</b>	一般会計から特別会計に支出されるお金
<b>普通建設事業費等</b>	道路などの新設・維持管理に要する経費	<b>その他</b>	維持補修費や貸付金、積立金など

## 普通会計予算

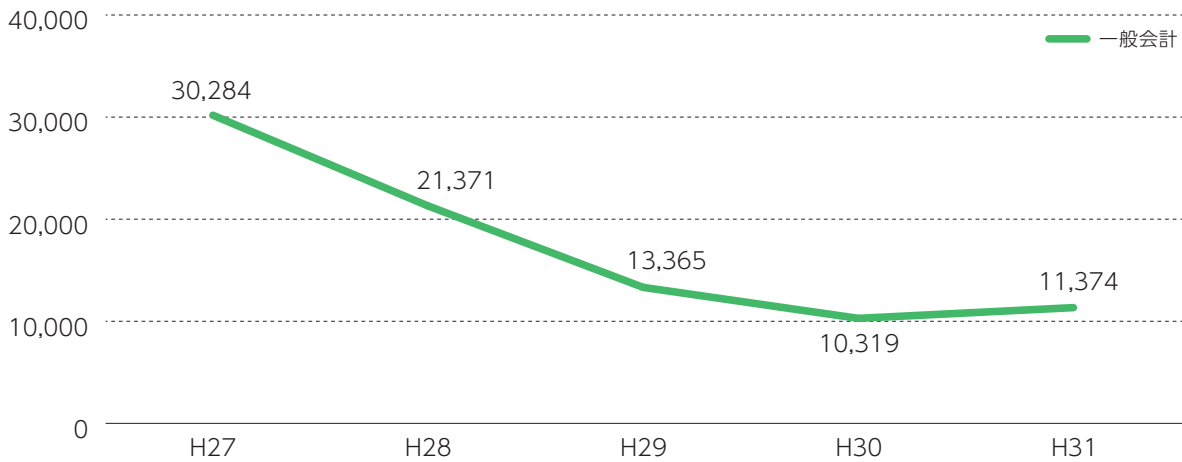
(単位：百万円)

会計名	H27	H28	H29	H30	R1	前年度比(%)
一般会計	30,284	21,371	13,365	10,319	11,374	10.2
国民健康保険事業特別会計	2,164	2,103	2,098	1,895	1,823	△3.8
後期高齢者医療特別会計	166	162	166	169	168	△0.6
介護保険事業特別会計	1,286	1,261	1,345	1,443	1,440	△0.2

※平成30年度当初予算は、骨格予算として編成されています。

## 予算規模の推移(一般会計)

(単位：百万円)



## 水道事業会計予算額(公営企業会計)

(単位：百万円)

収益的収入および支出		資本的収入および支出	
収入	448	収入	99
支出	394	支出	217

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額118百万円は、損益勘定留保資金などで補てんします。

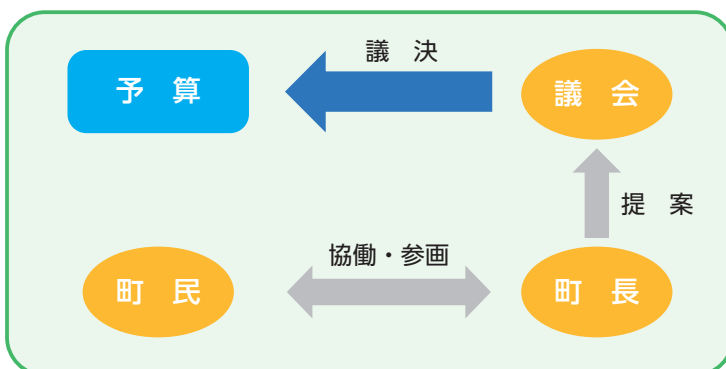
## 下水道事業会計予算額(公営企業会計)

(単位：百万円)

収益的収入および支出		資本的収入および支出	
収入	616	収入	402
支出	493	支出	612

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額210百万円は、損益勘定留保資金などで補てんします。

## 予算ってどうやって決まるの？



現在策定を進めている「第6次山元町長期総合計画」に加え、町民の皆さんの意見や要望などを合わせて、1年間の行政サービスを検討し、協議、調整を重ね、予算案としてまとめて町議会に提出します。

町民を代表する町議会議員は、提案された予算案を審議した上で、町議会の議決によって予算を決めます。